

令和 5 年度第 5 回 富士見市図書館協議会 議事録					
日 時	令和 6 年 5 月 1 7 日 (金)		開会	午前 1 0 時 0 0 分	
			閉会	午前 1 1 時 1 0 分	
場 所	中央図書館 レセプションルーム				
委 員	出井委員長	檜山副委員長	小林委員	金高委員	今井委員
	○	○	○	○	○
	神馬委員	本木委員	野澤委員	金子委員	渡邊委員
	○	欠	○	○	○
出席者	事務局	○教育委員会生涯学習課 岡課長 森田主査 清水主任 ○図書館 長谷川中央館館長 田畑副館長 大里鶴瀬西分館長 下川ふじみ野分館長			
公 開 ・ 非 公 開	公開 (傍聴者 1 名)				
次 第	1. 開会 2. 各館事業報告 令和 5 年度 2 ～ 3 月 (中央・鶴瀬西・ふじみ野) 3. 「宅配サービスの利用対象と利用条件」について 4. その他 (次回開催日程) 5. 閉会				
配布資料	・富士見市図書館協議会 令和 5 年度 5 月定例会次第 ・令和 5 年度 2 ～ 3 月活動報告 (中央・鶴瀬西・ふじみ野分館) ・「さざなみだより」 2 0 2 4 年 4 ・ 5 月 ・「つるせにししんぶん」 2 0 2 4 年 4 ・ 5 月号 ・「ぶんちゃんしんぶん」 2 0 2 4 年 4 ・ 5 月号 ・「BOOK ADVENTURES」 2 0 2 4 年 5 月号 ・「とびらしんぶん」 2 0 2 4 年 4 ・ 6 月号				

議 事 内 容

図書館
委員長

1. 開会
開会あいさつ
2. 各館事業報告（令和5年度2～3月）

図書館

【中央図書館】
前回協議会で議題とさせていただいた「図書館でのマナー」について、皆様よりご意見をいただき、それをもとにマナー啓発を学習テーブルに掲示した。その後は今のところマナーに対する苦情報告はない。
ご意見、ありがとうございました。

- ・資料に基づき報告

定例行事は資料のとおりである。

ロビーミニコンサートについて、2月は「冬、ピアノの音色で心あたためましょう」、3月「桜咲く、春の図書館コンサート」と、毎回季節感を大切にしたプログラムを作っていただいております、大変好評である。

「睡眠に関する展示」は健康増進センターとのコラボ企画で行った。3月は自殺予防月間であり、睡眠と関連性があることからテーマとした。若い方からご年配の方まで多くの方に資料を手にとっていただけた。

「ぬいぐるみおとまりかい」は毎年行っており、児童班が細かいところまでとても手をかけて準備している。年々評判もアップしているイベントである。それと共に、申込みの競争率もあがっており、今後は参加者の人数も考えていきたいと思っている。

- 【鶴瀬西分館】
・資料に基づき報告

図書館

水曜日の幼児小学生のおはなし会については学童さんがいらっしゃる、いらっしゃらないで人数の増減があるが、その他については多数参加して頂いている。

自主事業について、2月は「BIBLIO NOVA～創造力を刺激する大人のための絵本深読みワークショップ～」を行った。本を選ぶときにどのように手に取るのか、まず表紙を眺め、その表紙から何を想像していくかを突き詰めながら進めていった講座である。参加者からは「1冊の本をこれほどまでに眺め、見つめ、楽しめた特別な時間になった。」「本を楽しむという図書館ならではのサービスの提供だった」などと好評であった。

2月の学校連携では、つるせ台小学校のひまわり学級が毎週金曜日に来館があり、団体貸出以外にも一人一人本を借りて帰る。授業以外でもご家族で来館して下さる子もいて、当初の目標でもある卒業後も公共施設の利用へつながると考えている。

富士見台中学校のYAサポーターの交流会があった。試験、行事などを考慮し、いつどんなことをやりたいかなど話を進めている。3月には新しいメンバーを伴って開始している。

「24日は西の日」として西分館の事を分かり易く覚えてもらおうという企画で葉を配布している。令和5年度中、継続して行ってきた企画である。

「めざせ！図書館博士～OPACを使ってみよう～」は春休みを意識した日程で設定したが、果敢に申込があるわけではなかったため、今後は宣伝方法、開催時期などを考え多くの方に参加していただけるようにしたい。今回参加して下さった方は親子で参加してくださり、お子さんの年齢は小さく難しかったようだが、お母様にもお伝え出来たのでご家庭での利用に繋がると考える。

「スペシャルおはなしかい・いちぶえいご」は、令和5年度年間4回開催しており、日曜日の午後この会を目当てにいらして下さる方もいる。今年度は、企画も交えながら開催していく。

3月の学校連携のひまわり学級について、令和6年度は4時間目が多くの児童が参加できるので時間の変更を行いたいと連絡をいただいたので、実行していく。

4年生が授業で作成したPOPを春休みに図書館で展示させていただいた。POPとして必要なことなど工夫されて書いてあり、本を読むことがどちらかといえば苦手だと伺っていたが、1年間皆さんが学ばれたことがわかる作品だった。

富士見台中学校YAサポーターの交流会では、今年度の企画をいろいろ提案してくれいるが、昨年同様夏の企画をやってみたいとお申し出があり、現在計画中である。

【ふじみ野分館】

・資料に基づき報告

図書館

定例のおはなし会については表の通りである。

ぶんちゃんひろばの2月は小学校でも授業で行われているプログラミングに焦点をあて、その第1歩であるアルゴリズムについて、小さなお子さんにもできるようにゲームを入れて行った。3月はアニメーションで、絵本『ちょっとまって』を使って行った。アニメーションは継続して行うことによって、本を深く読み込んでいくことができるようになるプログラムではあるが、図書館で行う場合、継続して同じお子さんに行えるわけではないため、本を読むことは楽しいということに焦点を絞って行っている。今回はお話の登場人物がもらいリボンの色を、絵本を一回読んだ後に当てていく内容で、小さいお子さんには難しいかと思っただが、皆さん集中して聞いていて内容をよくとらえていた。

2月18日は年4回定期開催しているエアロブックス®の今年度最終回だった。親子一緒に絵本の読み聞かせと身体を動かすことを楽しむもので、毎回参加してくれている親子や新規の親子もいる。終わって帰られるとき、どの方々もととてもいい笑顔で帰っていかれ、皆さんとても楽しんで下さっているのだと感じられる。今年度も定期開催をする予定である。

2月23日は一般映画会だった。今回沢山の方に参加いただき、ふじみ野分館では一般映画会はこれまで年1回だったが、今年度は2回行う予定である。

3月20日は「絵本にでてくるお菓子づくり」。毎年好評のイベントで例年は2月に行っているが、今回の絵本『おおきなキャンドル馬車にのせ』が子どもたちに生まれてきてくれてありがとうというメッセージも含まれていることから、1年間頑張ったね、進級進学がんばろうねという願いを込めて年度末の開催とした。参加形態も、お子さんとお母さん、お子さんとお父さん、そしてお子さんご両親と色々な形態でご参加いただいた。また、チョコレートケーキのデコレーションも同じものを使っているのに様々で、皆さんセンスのいいデコレーションでビックリした。また、お菓子をつくるだけでなく、材料に使われているチョコレート、果物、キャンドルにもふれ、キャンドルについてはミツロウキャンドルも作った。統一感のあるプログラムだったと思う。

外部連携として保育園には「ぶんちゃんしんぶん」を配布して頂いている。また今年度からはふじみ野保育園にもおはなし会に行かせていただくようになった。図書館に寄ってくれたクラスもあった。学校連携としては、勝瀬中学校生徒のボランティア受入れもあった。

ふじみ野交流センター主催のふじみ野じゅく 3月に図書館企画「本読みの楽しさ、図書館への誘い」を行った。2部構成で、第1部は図書館サービスと電子図書館について説明を行った。参加者からは電子図書館についての質問が多くでて、お伝えすれば興味を持って下さる方が多いという印象を持った。第2部は「読書の秘訣カード」（慶應義塾大学 SFC 井庭崇研究室、株式会社有隣堂）の27のカードを使ったワークショップを行った。2グループに分かれ、カードに書かれていることについて参加者同士が語り合うものだったが、初めて同士でもカードを使うことによって話に華がさいていた。間の休憩時間には、中央図書館が撮影協力したショートムービー「図書館ではおしずかに」（佃井皆美）を上映した。

3月2日3日はふじみ野交流センター主催のふじみ野文化祭があった。図書館は2日に大人の「ビブリオバトル」を開催した。数人のバトラーが自分が推す本を5分間で紹介し、その紹介を聞いた会場の方々は「どの本が一番読みたくなったか」という基準で投票し、一番得票数が多かった本をチャンプ本とするもの。地域の皆さんが集うふじみ野文化祭で年齢性別関係なく地域で読書への関心を広め読書推進ができたという思いで行った。今回は初めての開催ということもあり、勝瀬中学校、富士見高校をはじめ図書館からお声がけをさせていただいたバトラーの皆様にご協力いただいた。観戦者も50名集まって下さった。バトラーがご紹介くださった本も展示したが、展示中貸出が2回転するほど皆さん手に取って下さった。また、ビブリオバトルの投票集計時には富士見高校のジャグリング部にご協力いただき、パフォーマンスをしていただいた。

3日は子どもから大人まで対象の「葉づくりワークショップ」を行った。場所がプレイルームだったことから大人の方が入っているのか躊躇される方もいらしたので、積極的にお声がけもし44名参加いただいた。

その他通常のテーマ展示や来館したお子さんむけ折り紙企画も行っている。

【質疑応答】

委員

ふじみ野分館から報告のあったショートムービー「図書館ではお静かに」は学生向けにマナー啓発で作ったのではなく、全く違うものなのか。

図書館	エンターテインメントのものである。内容は男女が図書館で同じ本を手にとって格闘するが、最終的には気になる存在になるというストーリーである。撮影された方が先日、ユーチューブに上がるということでご挨拶に来てくださった。
委員	西分館のお話会で、参加なしという日があるのが気になる。
図書館	水曜日の夕方の開催は学童さんが来られることが多いのだが、現在学童から習い事に行けるようになったことから、先生方もその送り出しなどがあり、お話会に連れてきてくださる先生がいないというご事情もあり、参加していただけないこともある。 日曜日については全く読めないが、門戸は開けておきたいと思っており、今のところは準備をしてお待ちしているところである。
委員	西分館の「OPAC をつかってみよう」は富士見市内の小中学校の図書委員と連携してはどうか。
図書館	今年度早々に4年生が「図書館の達人になろう」という授業単元で利用があった。毎年先生によって触れるところが違くなり、今回は「自分で探してみる」というテーマだったのでOPACのご案内もさせていただいた。OPACを使ったことのある子は多いが、OPACでキーワードを入れて検索し本にたどり着く、分類を理解するまでは繋がっていないことがわかった。ブラウジングしたり本を探す方法はいろいろあるが、そこにOPACも取り入れてくれたことは、多くの子どもたちに提供ができいるかと思う。 ただ学校だけでなく、図書館に来てくれる子にも提供したい。 この企画も子ども図書館司書から発して、西分館には大きな書庫がないので、何か図書館でやっていただけたらと重ねてきた講座である。 図書委員会については、以前図書館側からアプローチしたが、学校側の意向は図書委員になりたくてもなれない子も多いので、もっと門戸を広げて欲しいという要望があり、対象を5年生6年生として職場体験もしている。 もっともっと宣伝していきたいと思う。
委員	西分館だけでなく、ふじみ野分館、中央図書館でも広げて行っていただくと、益々読書の町になっていくのではと思う。

図書館	<p>3. 「宅配サービスの利用対象と利用条件」について</p> <p>2年前から、図書館への来館が困難な方向けに「宅配サービス」を開始した。当初は何件か利用があったが、ここ最近の利用が途絶えている。利用対象や条件に問題があるのなら変更していきたいと思っているので、皆様のご意見を伺いたい。</p>
委員	<p>・「図書館への来館が困難な方向け 宅配サービス 利用案内」に基づき、利用対象と利用条件について説明</p> <p>予約が入っている資料が貸出対象外になること、借りた資料の延長ができないのは何故か。</p>
図書館	<p>宅配サービスの貸出期間は3週間であり、通常よりも長く設定しているため、予約が入っている資料は対象外とさせていただいている。</p>
委員	<p>対象者は市全体ではどのくらいか？</p>
図書館	<p>全体としてはわからない。</p>
委員	<p>本を選ぶのはホームページを見て選ぶのか。</p>
図書館	<p>図書館に「この著者の本が読みたい」などお電話いただければ、こちらで調べてご案内をしている。図書館にいらっしゃることが可能であれば、本は重いのでお借りいただいた資料をご自宅へ届けることも可能である。</p>
委員	<p>宅配サービスが開始された当初利用されていた方々は、このサービスをどこで知ったのだろうか。</p>
図書館	<p>障がい者サービスに登録されている方をまず対象にした。ダイジーなどの録音図書ではなく、紙で読みたい方用に設定したサービスである。周知については、図書館のホームページや館内掲示をしている。</p>
委員	<p>何を読んだらよいか分からない方もいると思うので、おすすめ本のリストなどあるとよいのではないか。</p>
図書館	<p>登録されている方に本の紹介リストなどの送付を検討してみる。</p>
委員	<p>統括している部署は市になるのか。</p>

生涯学習課	障がい福祉課や高齢者福祉課に話をした。担当者もこういったサービスがある事を知らなかったが、周知するとのことだった。
委員	定期的に郵送する資料に、図書館からお知らせを入れていただくのはどうか。
生涯学習課	その件についても障がい福祉課に聞いたところ、対象が絞られるとその対象者だけに入れる事は難しいため、全部一斉に入れる事は可能という話だった。しかし、障がい全部となると、対象者が増えてしまうため、公共配送や図書館に来られる方との兼ね合いが難しくなる。あまりにも対象を広げてしまうのも考え物である。
委員	アンケートでも10%回答が返ってくればよいといわれているので、門戸を広げる事はよいと思う。市のサービスとして可視化もできるのではないか。 選書など負担が増えるかと思うが、トピック的なものを入れればよいのではないか。
図書館	図書館で発行している「さざなみだより」には、図書館のおすすめ本も紹介しているので、それを送ってあげるのも良いかと思う。
委員	中央図書館の障がい者サービスの担当者がこの件も担当されるのか。人数が少ない中で忙しくて大変だと思う。 これはデジ書に限らず、図書館の資料ということだが、デジ書についても毎月一回「こういった本があります」と紹介を届けている。そしてデジ書についても図書館独自でもう少し増やせないかと思ったが、時間がなくてできないということだった。
図書館	宅配サービスの配送については、障がい者サービスの担当者が利用者 に在宅日を聞き、配送の者が届けている。
委員	「利用対象者」の(3)館長が適当であると認めた該当者はこれまでにいるのか。
図書館	1名いらっしやった。精神の方の手帳をお持ちで、体調のいい時に借りたいとお申し出があった。
委員	その方の利用はあるのか。
図書館	今のところ利用はされていない。
委員	利用条件で、借りられている資料に予約を入れる事ができず、読みたい本と借りることができる本がマッチしていないというのもある

	<p>と思う。貸出期間が 3 週間なので予約ができないとなっているが、通常の利用者にも置き置き期限などもあるので、通常の利用者と同じでよいのではないか。</p>
図書館	<p>今読みたい本が読めないというのがネックだとは思う。 通常の利用者も置き置き期間 1 週間、貸出 2 週間なので、3 週間といえば 3 週間である。宅配サービスについては配送に制約がかかるため、予約資料は除外した設定としたが今後検討する。</p>
図書館	<p>一般の方からも棚が新鮮ではないというご意見もいただくが、予約多数のものが棚に戻ってくる頃は、読みたい時期が過ぎていることもある。 対象者の要件を変えないで周知をすることや、本の案内をし利用の確認をしてから、要件を見直していくのがよいかと思われた。 また、図書館のサービスを市役所の中でも周知されていないこともあるため、市役所との連携も深くやっていきたいと思っている。</p>
委員	<p>利用対象者について、枠を広げる意味で、身体障がい者を介護している家族の方にも対象を広げるのはどうか。実際に介護保険の区分が 3～5 の方は重度だと思うので、その方の家族の方が「この本を見せてあげたいな」と思うこともあると思う。家族の方の判断で借りられるイメージがあるといいのではないかと思う。現行は当事者のみというイメージが強い。ご家族の方も出向く時間の余裕がないと思う。</p>
図書館	<p>加える事を検討する。 他に対象者に加えた方がいいと思う方はいないか。</p>
委員	<p>色々な施設を利用する際の、利用対象者を参考にしてもよいのではないか。施設によっては身体障がい者の方の付添い、介護者も入れるというのも良くあるので、保護している方も対象にしても良いのではと思う。</p>
委員	<p>対象者に年齢による対象を設けるのはどうか。 例えば 85 歳以上など。</p>
委員	<p>85 歳は高すぎるかと思うが、免許を返納しようと思う方、した方など、自分で運転ができない方など。公共施設での受け取りも考えられるが、どうだろうか。</p>
図書館	<p>図書館としても元気なうちは来館して欲しいが、「図書館に来ることが困難」というくくりで考えていけるのではと思う。</p>

委員	宅配サービスを案内する中で、選択肢として電子図書館もあることも周知していったらどうか。
委員	登録申請は窓口に来なくてはならないのか。 利用案内の注意事項に宅配サービスの申請は、中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館窓口で受付可能だと書かれているが。
図書館	電話でも受け付けている。
図書館	図書館より何点か報告させていただく。 電子図書館について、諏訪小学校では図書館から一斉に ID と PW を出し活用して頂いており、今後広めていく予定である。 1年生にプレゼントするセカンドブックが届いており、これから学校にお届けする。 ふわっぴーの絵本について、電子図書館に載せるようシティプロモーション課と動いている。電子図書館に登録していない方も見れるようにする予定である。 ふじみ野分館設置のブックポストについて、ブックポストへの返却時だけではないが、路上駐車等が多く、現在貼り紙やHPで注意喚起をしているところである。最悪の場合は早くて来年4月ブックポストを閉じることも検討しているが、利用者のマナーの向上を図っている。
委員	長く駐車をしているということか。
図書館	ブックポストへの返却だけなら1,2分かと思うが、近隣住宅の方とのトラブルなども聞いている。事故もあることから、道路事情も直せるといいのではと思う。
生涯学習課	ふじみ野交流センターさんから代替案として、今後路上駐車がやまなかった場合は、他の公共施設と同じようにブックポストを館内に設置し、開館時間だけ利用できるように変更したいという要望も頂いている。
委員	本来ブックポストは開館時間以外でも返せるというのがいいところだが、やむを得ない事情だろうか。
生涯学習課	一部マナーの悪い人達のために利用者さんが迷惑を被る形になるので、周知を図りながら改善を図っていききたい。

4. 次回開催日決定

次回は7月12日（金）午前10時から中央図書館レセプションルームにて開催。

5. 閉会